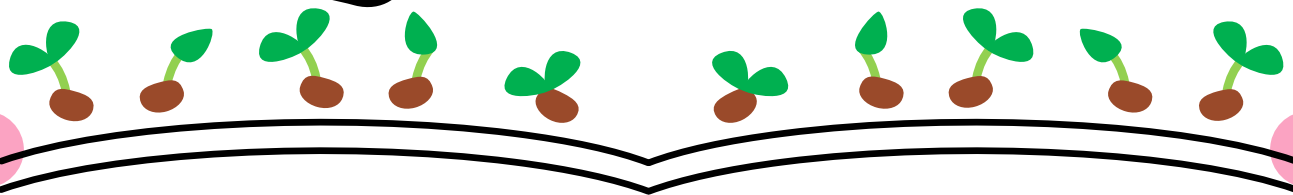


2025年版  
小学1・2年生

ねん がつ  
2025年1月~12月にはっこうされた本の中から  
ほん なか  
とくにおすすめの本をしょうかいします

ビーだまのようにキラリとひかる一さつを

# ビーだま



ブックリスト「小学1・2年生」2025年版 No.57

【編集・発行】

富山市立図書館 富山市西町5番1号/TEL 076-461-3200  
令和8年4月23日発行(年1回発行)



おお  
マイヤーさんと大きくなりすぎた犬  
いぬ

リリアン・ムーア/作 レオーネ・アデルソン/作 小宮由/訳 さ・え・ら書房



マイヤーさんのしごとは、のら犬や、もんだいのある犬をつかまえることです。つかまった犬がどこに行くのか、マイヤーさんはだれにも言いません。

ノディンさん一家のバターボールは、いたずらがすきでみんなをこまらせてばかり。ついにマイヤーさんがやってきて、バターボールをつれていくことになりました。

## ウインのまほう

いまむらあしこ／作 こやまもえ／絵 あかね書房



なきむしのウインは、カヤネズミの男<sup>おとこ</sup>の子<sup>こ</sup>。かやばあちゃんとくらしています。

ウインは、このごろ、かやばあちゃんがためいきをついてばかりでしんぱいしています。ミツバチおばさんにそうだんすると、ひみつのまほうのつかいかたをおしえてくれました。



## どろぼうジャンボリ

阿部結／作 ほるぷ出版

まち<sup>まち</sup>のみんながねしずまると、どろぼうのジャンボリはしごとをはじめます。ほう<sup>せき</sup>石<sup>かね</sup>やお金はぬすみません。かわった「たからもの」をぬすんでいます。

あるばん、いつものようにしごと<sup>で</sup>に出かけたジャンボリは、町から「たからもの」がきえたことにきがりました。



## ペンギンのトビオ

齊藤倫／作 うきまる／作 嶽まいこ／絵 偕成社

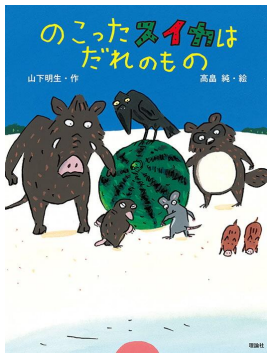


トビオは、ともだちのシロクマにあうために、はじめてひとりでたびに出<sup>で</sup>ます。かばんにたくさんのさかなとおりをつめて、さあ、出<sup>しゅつ</sup>ぱつ。

ひろい<sup>くう</sup>空<sup>くう</sup>こうには、キツネザルにヌー、もちろん人<sup>にん</sup>げんもたくさんいます。しんせつな人<sup>ひと</sup>にたすけられて、トビオはひこうきにのりこみました。

## のこったスイカはだれのもの

山下明生／作 高島純／絵 理論社



はたけにのこったちい小さなスイカ。どうぶつたちが  
つぎつぎとやってきて、せわをしました。

おお大きくそだったスイカのまえで、どうぶつたちは  
みんな、せわをしたじぶんのものだとにらみあいま  
す。そこで、だれからたべるか、スイカわりできめ  
ることになりました。



## はじまりはわざとじゃない！

かさいまり／作 北村みなみ／絵 くもん出版

つばさは、るいにわざとちよっかいを出してきて、  
そのたびにふたりはいいあいになります。

ある日、るいは、つばさのよこでいもうとがな  
いっているのを見つけます。るいは、つばさがなかせた  
のだろうとおこりましたが、それはかんちがいで、  
いもうとをたすけてくれたとわかりました。



## ちいさなクリスマスツリー

アーシュラ・モリー・ウィリアムズ／作 尾崎愛子／訳 嶽まいこ／絵 岩波書店

クリスマスイブ、おとうさんがちい小さなもみのき木を  
もちかえりました。しかし、まずしいかぞくは、き  
れいなかざりをかうことができません。

もみの木は、ほう石せきやおもちゃのついたクリスマ  
スツリーになってかぞくをよろこばせようと、こっ  
そりいえをぬけ出します。



## ベランダでわたをつくったよ そだててつむぐ綿花<sup>めんか</sup>

あおきあさみ／さく 福音館書店



モモは、おとなりのおばあちゃんに綿花のタネをもらいました。タネをまき、水<sup>みず</sup>やりをしたり、まびきをしたりとせわをします。綿花はぐんぐんそだち、花<sup>はな</sup>がさき、実<sup>み</sup>がなりました。

やがて実<sup>み</sup>ははじけて、中<sup>なか</sup>から白<sup>しろ</sup>いわたがかお<sup>だ</sup>を出しました。とったわたは、つむいで糸<sup>いと</sup>にします。



## すずめばち

館野鴻／作 福音館書店

とうみんからさめた女王<sup>じょおう</sup>ばちは、たくさんのたまごをうみました。はじめにたまごからかえるのは、めすのはたらきばち。なつのおわりには、おすばちがうまれます。

女王ばちはさらにたまごをうみつづけ、あきにはつぎに女王になるめすばちがあらわれました。もうすぐ、すずめばちのけっこんしきがはじまります。



## ふしぎなはごろも

蔡皋／作・絵 石田稔／訳 徳間書店



アツオワンは、びんぼうでけっこんできず、絵<sup>え</sup>のむすめに「アツアイ」と名<sup>な</sup>づけてはなしかけていました。するとふしぎなことに、アツアイは絵<sup>え</sup>の中<sup>なか</sup>から出<sup>で</sup>てきたのです。ふたりはふうふになり、しあわせにくらしていました。ところが、王<sup>おう</sup>さまがうつくしいアツアイを手<sup>て</sup>に入れよう<sup>い</sup>とします。